

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		はこだて療育・自立支援センター 保育所等訪問支援事業所		公表日 令和 7年 2月27日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制・ 運 備 營	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	<input type="radio"/>		・当センター児童発達支援で実際に使用している教材を参考に使用しています。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		・様々なニーズに対応できるよう医療専門職（理学療法士、作業療法士、言語聴覚療法士）も配置しています。	以前より幅広く対応できる職員体制に整えたことを訪問先や関係機関に周知し、専門職も活用して訪問件数を増やすよう努めます。
業務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		定期的な会議を行い、業務を見直しています。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			・ガイドラインに基づき、今年度（令和6年度）から保護者向け評価表による保護者評価を実施します。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・定期的な会議で随時把握しています。	・ガイドラインに基づき、今年度（令和6年度）から事業所全体での自己評価を実施します。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・外部評価は実施していませんが、令和6年度から運営アドバイザー2名を委嘱し、自己評価実施にあたり第三者からの意見を反映することとしました。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		・年間計画の他、随時情報を得ながら、外部研修等に参加しています。 ・年数回施設全体での研修を開催しています。	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	<input type="radio"/>		・計画作成時には訪問先施設と内容を協議し、意向を確認した上で支援計画を作成しています。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		・標準化されたツールは使用しておりませんが、事業所でわかりやすいように工夫して作成したアセスメント用紙を使用しています。	・独自の用紙に加え、当施設内の児童発達支援事業で使用している標準化されたツールを使用する方向で、新規利用児から順次使用を開始しています。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	<input type="radio"/>				

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○				
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・担当保健師と連携しているほか、他事業所を利用している場合は定期的に連携を図っています。	日頃から地域の関係機関との連携に努め、対象児以外についての相談にも応じるなど、事業を活用して地域のインクルージョン推進につながるよう取り組んでいきます。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		・これまで対象事例がありませんが、必要時には対応できるよう準備をしています。	・訪問先の園と協力し、支援内容の共有などを通し、理解を図るようすすめます。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・必要時には、訪問支援員として配置している医療専門職と連携し支援をしています。 ・外部研修には随時参加しています。		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		・自立支援協議会子ども部会、医療的ケア児ワーキンググループに参加しています。		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○				
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・ペアレント・トレーニングや独自の研修会は実施していませんが、児童発達支援事業の保護者学習会への参加が可能です。保護者への周知が不十分な点は、今後改善が必要と考えています。 ・面談の中で家庭での困り感を確認し、対応の仕方を伝えています。	・12月の保護者学習会より、訪問日より内で案内することとしました。	
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				
保護者等への説明等	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○				
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○				
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○				
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	・対象人数が少なく、就労している保護者が多いため、実施が難しい状況です。 ・きょうだい同士の交流等は実施していません。	・保護者同士の交流やきょうだい同士の交流については、今後ニーズを確認し、必要に応じて対応を検討していきます。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○				
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	・年に数回訪問だよりの発行を予定しています。 ・SNSについては、今後検討が必要です。	・訪問だよりを12月に発行しました。 ・今後も学習会の案内や、支援についての情報などをおたより等で発信していきます。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○				
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○				
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			引き続き、対象児以外についても相談を受け、園が安心して児を受け入れられるよう必要な助言、支援を行います。	

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		・訪問支援実施後、ミーティングを持ち、支援内容等について検討しています。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		・訪問支援実施後、速やかに報告書を家族等へお渡しし支援内容等の共有を行っています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・施設としてのマニュアルを策定し、保護者が閲覧できるようにしています。 ・実際は訪問先の園のマニュアル、訓練に従うことになるため、訪問先の訓練等に参加する機会をつくっています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画を作成し、施設内での研修等を実施しています。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハット事例は今のところありませんが、同施設内の事例について全事業所間で共有しています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・年1回全職員を対象とした研修会と、虐待に関するアンケート調査を実施し、対応を振り返る機会としています。 ・外部研修に参加しています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・年1回全職員を対象とした研修会を行い、職員の理解を深めるよう努めています。	